



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月29日

上場会社名 株式会社牧野フライス製作所 上場取引所 東
 コード番号 6135 URL <http://www.makino.co.jp/>
 代表者 (役職名)取締役社長 (氏名)牧野 二郎
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)永野 敏之 (TEL)046(284)1439
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	23,057	53.6	400	—	218	—	△91	—
23年3月期第1四半期	15,009	37.7	△1,503	—	△1,784	—	△1,760	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 △198百万円(—%) 23年3月期第1四半期 △3,278百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△0.82	—
23年3月期第1四半期	△15.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	162,079	79,061	48.4
23年3月期	168,280	79,704	47.0

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 78,446百万円 23年3月期 79,107百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	4.00	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	52,000	38.4	2,500	—	2,300	—	2,000	—	17.98
通期	110,000	15.6	7,000	146.4	6,500	311.0	5,500	153.8	49.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	119,944,543株	23年3月期	119,944,543株
24年3月期1Q	8,683,480株	23年3月期	8,683,036株
24年3月期1Q	111,261,223株	23年3月期1Q	114,312,664株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計処理の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
4. 補足情報	12
受注及び販売の状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

世界経済は金融や財政に関連して不安定な状態が続いていることから、低調のまま推移していると考えられております。しかしながら、生産財の設備投資は引続き堅調に拡大を続けています。さらに、当四半期に入り国内の回復も顕著になってきました。

第1四半期における当社受注は、前年同期比49.1%増の345億26百万円、個別は69.1%増の195億72百万円となりました。最盛期(2007年3月期)に迫る水準まで戻ってまいりました。

このような環境の中、第1四半期における売上高は230億57百万円(前年同期比53.6%増)、営業利益4億円(前年同期は15億3百万円の営業損失)、経常利益2億18百万円(前年同期は17億84百万円の経常損失)、純損失91百万円(前年同期は17億60百万円の純損失)となりました。

売上高の進捗率(上期売上計画520億円)が44.3%と低くなった要因は、出荷のずれ込みによるものです。上期売上は計画どおり達成の見込みです。

地域別の状況は以下のとおりです。

アメリカ

受注は前下期から最盛期(2008年3月期)の水準に達しています。第1四半期も同水準で推移しました。自動車部品メーカーからは横形マシニングセンタa51nx・a61nx。航空機部品メーカーからはアルミ加工向けの5軸マシニングセンタMAG/Aの受注が顕著になっています。

当社が注力してきた難削材加工分野で、具体的な需要が顕著になってきました。6月にオハイオ州メイスンのマキノインク社で開催した国際セミナーでは、主力製品であるMAG/AおよびMAG/Tに多くの引合いを受け、受注活動の強化を図っているところです。

ヨーロッパ

ヨーロッパ子会社の受注が増加しており、第1四半期は前年同期比109.2%増になりました。しかしユーロ安により欧州工作機械メーカーとの厳しい競合状況が続いています。

9月にドイツ(ハノーバ)で開催される世界最大級の見本市(EMO SHOW)が例年になく注目を集めています。当社はこの見本市に、新開発のD300を中心に5軸マシニングセンタを複数台出品する予定です。欧州工作機械ユーザは5軸加工機の使い方に定評があり、最大の需要地でもあります。ここでの評価を確固たるものとして、販売拡大につなげていく所存です。

アジア

第1四半期のアジア子会社の受注は、引続き高い水準で推移しています。

中国では、インフレ抑制策による景気後退が懸念されていますが、引き続き活発な設備投資が行われています。

インドからは、自動車・建機・農機関連で横形マシニングセンタの受注が増加しました。第1四半期の受注は前年同期比72.2%増となっています。

マキノアジア社が開発製造する放電加工機と立形マシニングセンタの受注が好調に推移しており、生産現場はフル稼働の状態が続いています。

日 本

第1四半期における個別の国内受注は前年同期比129.3%増となりました。産業機械部品の加工用として大型の横形マシニングセンタの受注が好調でした。

国内の主要な市場である金型産業では、より付加価値の高い金型づくりに向けた企業努力が続けられています。

当社は、より飛躍した高精度金型、より高級感を与えられる製品につながる金型などの効率的加工を可能とする、加工機械および加工技術の強化に努めています。

一方、子会社マキノジェイでは第1四半期に入り、国内自動車と建機関連の大手および中堅の量産部品メーカーからの受注が顕著になりました。短納期の要求に対する体勢を強化しています。

東日本大震災の影響から多くの産業で開発計画の延期を余儀なくされました。その再開時期は不透明ですが、当社はこれに合わせた製品開発に取り組んでいきます。

今夏の節電対策について

当社の国内主力生産工場(神奈川県/山梨県)は電力総量規制の地域にあります。週末勤務/夏季休暇シフト、発電機の設置、そのほか細かな節電対策を数多く実施しています。生産面への影響を極めて低く抑えるよう取り組んでおります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ62億1百万円減少し、1,620億79百万円となりました。主な増減としては棚卸資産43億19百万円の増加、現金及び預金47億72百万円の減少、受取手形及び売掛金49億50百万円の減少などが挙げられます。

負債につきましては、支払手形及び買掛金41億円の減少などにより、前連結会計年度末に比べ55億57百万円減少し、830億18百万円となりました。

また、純資産につきましては、為替換算調整勘定4億82百万円の減少などにより、前連結会計年度末に比べ6億43百万円減少し790億61百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期及び第2四半期連結累計期間の連結業績予想につきましては、前回公表値(平成23年4月28日公表)を修正しておりません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

法人税等の計上基準など一部簡便的な方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	36,714	31,942
受取手形及び売掛金	31,626	26,676
有価証券	2,021	2,021
商品及び製品	8,640	12,563
仕掛品	10,922	12,781
原材料及び貯蔵品	17,671	16,210
繰延税金資産	1,906	1,729
その他	3,865	2,777
貸倒引当金	△893	△773
流動資産合計	112,476	105,929
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	20,503	20,157
機械装置及び運搬具(純額)	2,890	2,800
工具、器具及び備品(純額)	2,037	1,987
土地	9,769	9,754
リース資産(純額)	1,865	2,083
建設仮勘定	213	440
有形固定資産合計	37,280	37,224
無形固定資産		
その他	957	954
無形固定資産合計	957	954
投資その他の資産		
投資有価証券	11,790	12,407
長期貸付金	662	653
繰延税金資産	937	926
その他	4,778	4,561
貸倒引当金	△603	△579
投資その他の資産合計	17,565	17,970
固定資産合計	55,804	56,150
資産合計	168,280	162,079

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,673	20,572
短期借入金	2,322	2,168
1年内返済予定の長期借入金	3,011	3,077
リース債務	678	744
未払法人税等	1,116	789
その他	11,722	11,055
流動負債合計	43,523	38,407
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	16,268	15,463
リース債務	2,103	2,289
繰延税金負債	3,944	4,202
退職給付引当金	462	443
役員退職慰労引当金	295	298
負ののれん	87	81
その他	1,890	1,831
固定負債合計	45,052	44,610
負債合計	88,576	83,018
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,263	19,263
資本剰余金	32,595	32,595
利益剰余金	34,099	33,564
自己株式	△4,772	△4,772
株主資本合計	81,185	80,650
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,299	4,682
繰延ヘッジ損益	△58	△85
為替換算調整勘定	△6,318	△6,800
その他の包括利益累計額合計	△2,077	△2,203
少数株主持分	597	614
純資産合計	79,704	79,061
負債純資産合計	168,280	162,079

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	15,009	23,057
売上原価	11,612	17,145
売上総利益	3,397	5,911
販売費及び一般管理費	4,900	5,510
営業利益又は営業損失(△)	△1,503	400
営業外収益		
受取利息及び配当金	108	121
その他	174	103
営業外収益合計	283	225
営業外費用		
支払利息	257	205
為替差損	255	99
その他	51	102
営業外費用合計	564	407
経常利益又は経常損失(△)	△1,784	218
特別利益		
固定資産売却益	14	—
特別利益合計	14	—
特別損失		
固定資産除却損	3	—
特別損失合計	3	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,773	218
法人税等合計	△15	291
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,757	△72
少数株主利益	3	18
四半期純損失(△)	△1,760	△91

四半期連結包括利益計算書

【第1四半期連結累計期間】

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,757	△72
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△269	383
繰延ヘッジ損益	—	△26
為替換算調整勘定	△1,251	△482
その他の包括利益合計	△1,521	△125
四半期包括利益	△3,278	△198
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,285	△216
少数株主に係る四半期包括利益	6	18

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループの主な事業は工作機械の製造販売であります。製造は日本、アジアで行なっており、販売は海外の重要拠点に子会社を展開して、グローバルな販売活動を行なっております。従いまして、当社グループは下記Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳの販売体制を基礎とした各社の所在地別のセグメントから構成されております。

報告セグメントⅠ. は牧野フライス製作所および国内連結子会社が担当するセグメントであり、主たる地域は日本、韓国、中国、大洋州、ロシア、ノルウェー、イギリス及びセグメントⅡ、Ⅲ、Ⅳに含まれないすべての地域です。

報告セグメントⅡ. はMAKINO ASIA PTE LTD(シンガポール)が担当するセグメントであり、主たる地域は中国、ASEAN諸国、インドです。

報告セグメントⅢ. は、MAKINO INC. (アメリカ合衆国オハイオ州メイスン)が担当しているセグメントで、南北アメリカのすべての国です。

報告セグメントⅣ. は、MAKINO Europe GmbH (ドイツ連邦共和国ハンブルグ市)が担当するセグメントであり、ヨーロッパ大陸(ノルウェーを除く)のすべての国です。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				
	Ⅰ (百万円)	Ⅱ (百万円)	Ⅲ (百万円)	Ⅳ (百万円)	計 (百万円)
売上高					
1. 外部顧客に対する 売上高	5,613	5,098	2,756	1,540	15,009
2. セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,253	609	36	—	5,899
計	10,867	5,707	2,793	1,540	20,908
セグメント利益 又は損失(△)	△1,150	166	△339	△211	△1,535

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（百万円）
報告セグメント計	△1,535
未実現利益の消去他	32
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△1,503

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループの主な事業は工作機械の製造販売であります。製造は日本、アジアで行なっており、販売は海外の重要拠点に子会社を展開して、グローバルな販売活動を行なっております。従いまして、当社グループは下記Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳの販売体制を基礎とした各社の所在地別のセグメントから構成されております。

報告セグメントⅠ. は牧野フライス製作所および国内連結子会社が担当するセグメントであり、主たる地域は日本、韓国、中国、大洋州、ロシア、ノルウェイ、イギリス及びセグメントⅡ、Ⅲ、Ⅳに含まれないすべての地域です。

報告セグメントⅡ. はMAKINO ASIA PTE LTD(シンガポール)が担当するセグメントであり、主たる地域は中国、ASEAN諸国、インドです。

報告セグメントⅢ. は、MAKINO INC. (アメリカ合衆国オハイオ州メイスン)が担当しているセグメントで、南北アメリカのすべての国です。

報告セグメントⅣ. は、MAKINO Europe GmbH (ドイツ連邦共和国ハンブルグ市)が担当するセグメントであり、ヨーロッパ大陸（ノルウェイを除く）のすべての国です。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				
	I (百万円)	II (百万円)	III (百万円)	IV (百万円)	計 (百万円)
売上高					
1. 外部顧客に対する 売上高	9,548	7,219	4,311	1,978	23,057
2. セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,033	1,445	46	—	8,525
計	16,581	8,664	4,357	1,978	31,582
セグメント利益 又は損失(△)	△561	642	132	23	236

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	236
未実現利益の消去他	163
四半期連結損益計算書の営業利益	400

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
該当事項はありません。

4. 補足情報

受注及び販売の状況

1. 受注の状況

受注高

(百万円未満切捨て)

セグメントの名称	当第1四半期連結会計期間 自 平成23年 4月 1日 至 平成23年 6月 30日		前年同四半期比
	金額	比率 (%)	比率 (%)
I	15,348	44.4	+88.8
II	9,446	27.4	+16.6
III	6,592	19.1	+21.4
IV	3,139	9.1	+109.2
合計	34,526	100.0	+49.1

(注) 上記の金額には消費税は含まれておりません。

受注残高

(百万円未満切捨て)

セグメントの名称	当第1四半期連結会計期間末 平成23年 6月 30日		前年同四半期比
	金額	比率 (%)	比率 (%)
I	14,888	37.4	+0.3
II	10,662	26.8	-2.3
III	10,313	25.9	+134.0
IV	3,932	9.9	+179.2
合計	39,797	100.0	+26.1

(注) 上記の金額には消費税は含まれておりません。

2. 販売の状況

販売実績

(百万円未満切捨て)

セグメントの名称	当第1四半期連結会計期間 自 平成23年 4月 1日 至 平成23年 6月 30日		前年同四半期比
	金額	比率 (%)	比率 (%)
I	9,548	41.4	+70.1
II	7,219	31.3	+41.6
III	4,311	18.7	+56.4
IV	1,978	8.6	+28.5
合計	23,057	100.0	+53.6

(注) 上記の金額には消費税は含まれておりません。